

目次

表.....	3
図.....	3
ボックス.....	3
謝辞.....	3
<u>1: 世界の主なCCSプロジェクトー進展状況.....</u>	<u>5</u>
Section1のハイライト.....	5
1.1 世界のCCSプロジェクトー進展状況.....	6
1.2 世界の政策・法規制の進展状況.....	16
<u>2: 地域別CCSの状況.....</u>	<u>25</u>
2.1 アメリカ大陸.....	25
2.2 欧州、中東、アフリカ.....	30
2.3 アジア太平洋地域.....	38
付録(別途掲載).....	43
参考文献.....	44
略語・頭字語.....	48

表

表 1.1 現在建設中にあり、今後 18 カ月以内に操業が予定されている大規模 CCS プロジェクトの主な特長.....	7
表 1.2 2016 年半ばまでに最終投資判断を行うことが期待される大規模 CCS プロジェクト.....	10

図

図 1.1 操業中・建設中の大規模 CCS プロジェクト件数 – 操業(操業開始予想)年別の CO2 回収量.....	8
図 1.2 操業(Operate)、建設(Execute)、精査(Define)段階にある大規模 CCS プロジェクトの産業別・貯留タイプ別の操業時期(予想操業時期).....	9
図 1.3 操業(Operate)、建設(Execute)、精査(Define)段階にある大規模 CCS プロジェクトの回収別・貯留形態別操業時期(予想操業時期).....	9
図 1.4 操業(Operate)、建設(Execute)、精査(Define)段階にある大規模 CCS プロジェクトの地域別・プロジェクトライフサイクル別操業時期(予想操業時期).....	10
図 1.5 ライフサイクル段階別および地域／国別の大規模 CCS プロジェクト.....	14
図 1.6 特定された大規模 CCS プロジェクトの CO2 回収総量.....	15
図 1.7 CCS 政策指標 2015.....	18
図 1.8 法規制指標の評価結果.....	19
図 1.9 過去 12 カ月に CCS 政策環境に実質的な変化があったか?.....	20
図 1.10 国内規制環境に関するプロジェクト評価– 全回答.....	22
図 1.11 国内規制環境に関するプロジェクト評価– アジアのプロジェクトを除く.....	23
図 2.1 苫小牧 CCS 実証プロジェクト.....	40

ボックス

ボックス 2.1 北米三カ国エネルギー省 CCUS 作業グループ.....	26
ボックス 2.2 貯留指令2009/31/ECの再検討 – 最終報告書、2015年1月発行.....	31
ボックス 2.3 EU ETS 諮問書 – インスティテュートからの回答.....	33

謝辞

レポート「世界のCCSの動向:2015」本章の主な寄稿者は、Peter Grubnic(インスティテュート、チーフ戦略オフィサー)、Ian Havercroft(インスティテュート、法・規制シニアアドバイザー)、Lawrence

Irlam(インスティテュート、政策・経済シニアアドバイザー)、**Nick James**(インスティテュート、戦略プランニングマネージャー)、**Pamela Tomski**(インスティテュート、政策・規制シニアアドバイザー)、**Silvia Vaghi**(インスティテュート、政策・規制プリンシパルマネージャー)である。

Appendices(付録)は、**Michael Hickin**(インスティテュート、プロジェクトアナリスト)が作成した。